

## 情報の価値について

日経新聞の第一面に六月二十  
四日以降のシリーズでデータの  
世紀とのテーマで情報について  
の検証と考察がなされている。  
シリーズの第四回目に『データ  
労働者に富流れず』として以下  
の記述があつた。概略を引用し  
てみる。

私はそんなに安い男なのか

すか』と詰め寄る私。だが『一人ひとりの情報は安いものですよ』とたしなめられた。

そんなはずはない。データは『二十一世紀の石油』のはずだ。

私はその価値を探る実験を始め

た。

私はそんなに安い男なのか。  
自分のデータを企業に提供する  
『データ労働者』になつて三週間、  
牛丼一杯分も稼げなかつた。【ま  
ず自分売つて稼ぐ】まず静岡大  
学准教授の高口鉄平さんを訪ね  
た。企業の情報漏洩の賠償額か  
ら個人情報の価値を試算してい  
る先生だ。『最近の事例を集計す  
ると賠償額の目安は五〇〇円で  
すね』。私の大事な情報がたつた  
の五〇〇円…。『おかしくないで

ト買い取り』アプリを使う姿が見つかった。個人からレシート画面を買い取り、消費傾向を読み取る『ビッグデータ』として外部に提供するビジネスだ。詳しい所費活動を明らかにするのだ。それなりの値段になるはず、と思つたら五日間で一一五円。一年続けても一万円にも届かない。行動がわかる情報ならどうか。NTTドコモは二都道府県

品』では利益を生まないのか、野村総合研究所の小林慎太郎さんが解説してくれた。『一般的にデータビジネスは二〇～三〇万人分集まると採算線にのります』。これだけあると、広告や商品開発に生かせるようになる」という。

情報資源も原油と同じで、生  
のデータは価値が低い。「GAFE  
A」が兆円単位の利益を稼げる

情報業があり、また③業界の動向に関する情報（需給のバランス、諸事故情報等）もある。

析し、過去の推移と現状および今後の推移を読み取ることが要であり、個々の数値だけを確認することには大きな意味はない。②は、製品の特殊性に関しての強調が目的で、含まれる成分・ブランドの特殊性をうたう。③は経営の方向性を確認し、戦略を立てるときにはそれを変更するためには重要となる。

近年マスコミを賑わす情報は、多くはビッグデータを意味している。

ビッグデータという用語自体が二〇一〇年以降、社会トレンドを代表する言葉としてマスコミによく取り上げられるようになつてゐる。それに伴い、個人

情報の漏洩事件も年を追つて増加しつつある。最近の個人情報漏洩事件をインターネットによつて検索してみた（サイバーセ

(株)PPQC研究所  
加藤 宏光

九月  
方六

ていたことを考えて、情報が戦や経済の趨勢すべてを制することを知っているものが時代を抑えてきた。その情報のあり方が、コンピュータ（AI）を駆使することにより姿を変えつつあることは実感される。もつとも『ピッゲデータをいかに活用するのか』については門外漢である著者には、曖昧模糊として掴みどころがない。それゆえ、かえつて漠然とした時代の圧力のような影を感じるのは著者だけであろうか？

ちなみに、中国では四億個の監視カメラで、個人の行動が国に把握されている、というテレビ報道がなされていた。実際に中国の人達と接していくと、個人情報が完全に把握されていることにに対する不安を感じている様子はまったく感じられない。その環境にドップリ浸つていると、かえつて無感覚になるのかもしない。それが良いことか悪いことかは、時代が決めることが多いのである。

二〇一四年以来の個人情報漏洩事件数を本年（六月）まで吟つてみると、▽二〇一四年・ネッセ事件をはじめとして三件、▽二〇一五年・米国・サンリオによる三三〇万人分のサイバー上の個人情報が解放状態等七件、▽二〇一六年・サンナチュラルズの事件等一八件、▽二〇一七年度・㈱JRN等の三一件、▽二〇一八年・国税庁からの委託データ入力業務を三業者へ再委託し二四〇万件のデータ流出等四一件、▽二〇一九年はまだ六月時点であるが、東京トヨタ自動車グループで不正アクセスにより二一〇万件の顧客情報の流出を含め、すでに三八件。

のも膨大なデータを集め、新事業を生んでいたからだ。しかし、もう少し私たちに分け前があつてもいい気がする。米国では、「これからは私たちはデータ労働者の性格が強まる」という主張が出てきている。経済学者のグレン・ワイル氏は『企業は情報の価値に見合うデータ分配金を個人に払うべきだ』と唱える。

— 以下略 —

情報の価値については、著者も十分に理解しているつもりであるが、ここに挙げた情報は個人情報を基盤とする、いわゆるビッグデータに関するもので、これまでの情報とは少し趣を異にする。個人情報を改めて理解しなおすと以下のようになる。

個人情報とは、①氏名、生年